

5/8
(木)

生涯学習で充実した生活へ いきいきふれあい学級開講式

ふるさと会館 MDD ホール ceremony

伊達地域の高齢者を対象とした学びの場、「いきいきふれあい学級」が開催されました。この事業は、市民が生涯を通じてさまざまな学習活動に取り組み、生きがいを持って充実した生活を送ることを目指しています。第1回の学習会では、須田市長が講師として登壇し、「選ばれるまち」を目指して市が取り組んでいる子育て支援などの重点的事業や、おいしい農産物、歴史など、市の魅力について講話を行いました。



5/13
(火)

広域連携事業でより良いまちへ ふくしま田園中枢都市圏首長会議

福島テルサ（福島市） meeting

9市町村を構成団体とする連携中枢都市圏の首長会議が開催されました。連携中枢都市圏は、生活圏や経済圏を同じくする近隣自治体との広域連携により、それぞれの持つ強みを合わせた施策を推進し、人口減少などの課題に対応するものです。会議では、令和6年度におけるデジタルスタンプラリー、観光PRイベント、出会いの場創出イベントなどの取り組み報告や令和7年度連携事業の計画などについて意見交換が行われました。



4/25
(金)

健康の維持と増進を楽しく 伊達市長杯ゲートボール大会

梁川寿健康センター sport

親善と交流を深めるとともに、心身の健康維持増進を図り、地域社会の福祉向上に寄与することを目的とし開催された本ゲートボール大会。須田市長は「スポーツは年齢や障がいの有無に関わらず、時代や地域を超え、私たちに感動や強い心と体をもたらしてくれます。皆さんが健康的に体を動かし、楽しいひとときを過ごせることを心からうれしく思います」とあいさつをしたのち、大会の始打式も須田市長が務めました。



5/2
(金)

鮮やかな緑と爽やかな風 山開きした霊山に多くの登山客

霊山 nature

新緑の季節を迎え「新・日本百名山」にも選ばれた霊山で山開きが行われました。山開き当日はあいにくの天気でしたが、連休もあり、たくさんの登山客が見られました。登山をしていたご夫婦にお話を伺うと「毎年楽しみにしています」などの声が聞けました。また、連休期間中に「霊山新緑まつり」も開催され、ふるさと物産展や数量限定で記念バッジの配布などもあり、親子連れやご夫婦など、多くの人でにぎわいました。



4/20
(日)

気軽に楽しく英語に触れて イースターエッグハントを開催

保原総合公園 event

公園内にたくさんのタマゴ型カプセルが隠されており、参加した子どもたちがタマゴを見つけ出し、英語の問題に答えるとお菓子が貰える本イベント。子どもたちは大興奮で探し回り、見つけると全速力で国際交流員のもとに駆け寄る様子が見られました。参加したお母さんは「なかなか英語に触れる機会も無いので、いいイベントでした」と述べ、子どもからは「楽しかった。またやりたい!」といった感想が聞けました。



4/24
(木)

取り組みを聞いてより身近に スマート農業講演会を開催

梁川総合支所 technology

園芸作物先進地である高知県から、高知大学IoT共創センターの岡林俊宏特任准教授と越智史雄客員講師をお招きし、高知県でのデータ駆動型スマート農業の取り組み状況などをご講演いただきました。また、令和6年度から伊達市内において、環境測定装置による生育データ集積・分析にご協力いただいている生産者より事例報告がありました。参加者からは「熟練農業者の技術継承に期待ができます」といった感想が聞けました。



4月
下旬

地域と行政を結び要 行政推進員に委嘱状を交付

伊達市内 ceremony

市民への行政情報の周知を行うとともに、市民の意向を行政に伝えることで、市政の円滑な運営と住民福祉の増進を目的とする行政推進員。今年も各行政区の行政推進員が選出され、地域ごとに委嘱状交付式が行われました。委嘱状交付にあたり須田市長は「行政と地域の橋渡し役として、今年1年間の活動をよろしくお願いいたします」とあいさつしました。委嘱状交付後は、令和7年度の事業説明会を行いました（詳細は8ページ）。



4/19～
4/20
(土・日)

伊達市自慢のニットが勢ぞろい 春のニットフェアを開催

保原市民センター event

福島県ニット工業組合により開催されているニットフェア。今年も市内10社による「春のニットフェア」が開催され、当日はすてきな洋服や服飾品がお買い得な価格でずらりと会場に並びました。市内外からたくさんのニットファンが来場し、お気に入りの商品を買って求めました。来場者からは「ニットが好きなので、たくさんのすてきなニット製品を見られてよかったです。たくさん買いました」といった感想が聞けました。

